

## つる対策工

## 準備工

## 試掘(不要の場合有り)

## 下地処理(草刈り・不陸整形)

## ネット施工

## 後片付け

内 容	留 意 事 項
作業内容の確認 作業人員の確認 保護具の点検 使用機械、資材、工具の点検	指示書の内容確認 安全ミーティング日報による
施工箇所に埋設ケーブルが有るか、無いか、図面にて確認し有る場合は、 施工前に試掘を行う。この時、関係部署の立ち会いを受けること。	埋設管を傷つけない様に、人力にて掘削を行い、関係 部署の立ち会いを受ける。
施工箇所の下地処理として草刈りを行う場合は、別紙草刈り手順書に 従い施工を行う。  浮石等施工に支障のあるものは取り除く。極端な不陸は整形を行う。 スコップ等を扱う際は無理にこじたり力任せに振り回さないこと。(飛石注意) 立入防止柵についた木、つるは取り除く。 動物侵入防止対策は撤去して、草木、土砂撤去、清掃を確実にを行う。	有資格者による機械作業を行う。 飛散防止対策の実施(ネット・トリマー使用等) ハサミ、ノコギリ使用の際は耐切削手袋を使用する。
ネットを張る。 結束バンドでネットを立入防止柵に取り付ける。  地面に止める場合は、Uピンで防草シート上に止める。 コンクリートシールの場合はコンクリート釘を使用する。	下地が土砂(裸地)の場合は防草シート施工を先に行う。 端部でケガしないように折り返す。 施工図を確認してピッチ通り施工する。  保護具の着用で作業する。
使用した道具、機材、余った材料等は、トラックに積み込み、最後に 竹ぼうきなどで清掃する。	使用した道具等は、現場に忘れ物が無いように 確認する。

## 注意事項

機械作業は、有資格者が必ず行う。

車輛の誘導を確実にを行う。

作業に合った保護具を使用する。

耐切削手袋の使用

立ち入り防止柵内に立ち入る際は既設門扉の使用または開口部を設けるか適切な昇降設備を使用する。

移動前に積載物の落下防止対策を実施し、複数人で確認する。

車両を後退させる際は誘導員と打合せ実施後移動する。